



「いのちの山河」 ネパールで上映

ジャイカ
JICAが現地語に

吹き替え上映計画

劇映画「いのちの山河」が海外に進出し、ネパールで上映されることになりました。本会の賛助会員で、兵庫県立大学名誉教授の森口育子氏が、去る3月にネパールを訪問して得た情報として本会に伝えてきたものです。

森口教授によりまずと「ネパールの首都カトマンズにあるJICA（ジャイカ）独立行政法人国際協力機構」事務局を訪問したとき、JICAボランティア（青年海外協力隊員）の提案で『いのちの山河』の映画を5人のボランティアが中心となってネパール語に翻訳して吹き替えを行い、今後上映会をしたいと、ポスターも見せてもらった」ということです。

森口教授は40年前青年海外協力隊の保健師としてネパールで活動した経験から現地事情に詳しく「深澤村長の旧沢内村の

生命行政や村落開発が、多くの問題を抱えるネパールの社会開発に大きな影響を与えるのではないかと非常にうれし

資料館で深澤理念学が

医大生らの研修に一役

最近、深澤晟雄資料館は医師や医学生への研修の場として新たな役割を担っています。昨年からは岩手医大歯学部卒業生の歯科医臨床研修で月2回2時間の研修を引き受けています。今年さらには岩手医大生の地域医療研修で6月と9月に研修生を受け入れます。

深澤村長時代から半世紀を経たなお、地域医療の原点として深澤理念に学ぼうとする機運が高まっています。資料館スタッフも人材の養成確保に貢献すべく、

研修プログラムや内容を吟味しているほか、休館日や時間外にも対応することにしていきます。



沢内病院での研修の合間に資料館で深澤理念を学ぶ岩手医大生（休館日の6月25日）

金一封に感謝

- | | |
|--------|-------|
| 西和賀町太田 | 山村隆司様 |
| 西和賀町太田 | 太田祖電様 |
| 秋田市 | 外山宗平様 |
| 秋田県能代市 | 佐藤勤一様 |
| 盛岡市 | 坪川れい様 |

く思っています」と「いのちの山河」のネパール上映に賛意を寄せています。（写真は日本での映画ポスター）

資料館の充実めざして

～深澤晟雄の会総会から～



50周年の集いで「深澤晟雄を讃える歌」を披露するコーラスリリヤン

第7回深澤晟雄の会総会は6月29日午後5時から農家レストランおよねで開かれました。24年度事業報告と決算、25年度事業計画と予算とも原案通り承認され、役員改選は現体制留任と決まりました。その主な内容をまとめて報告します。(金額表示は万円未満切り捨て)

記念事業に続く 陸前高田市支援

24年度は「乳児死亡ゼロ50周年の集い」が中心となりました。集いには町内外から160人が参加、生命尊重行政の歴史を検証し、今後の展望を考える集いとして全国的にも注目されました。

また、深澤村長時代から災害時相互支援の絆で結ばれる陸前高田市への支援は、困難な状況下でも多くのボランティアに支えられて継続できました。25年度は現地に行かなくても役立つ支援方策を検討します。

深澤晟雄の会の24年度決算は資料館特別会計の不足分71万円を繰り出しても寄付金94万円に支えられて56万円の繰越金を計上しました。しかし、寄付金依存は健全な財政運営とはいえず、賛助会員を含む会員の拡大と社会的支援もお願いしながら財政基盤の確立に努めて参ります。

資料館の今日的役割に立脚して

一方、深澤晟雄資料館の運営は入館者の減少で財政的に

専大北上高校生の資料館研修
(今年5月13日)



と併せて医療関係者や小中高校生への研修対応など、深澤精神を次世代に継承する教育的側面も求められています。そこで今年度は、収蔵資料の分類整理と保存対策を重点に、資料の有効活用を図りたい計画です。25年度の資料館特別会計は29万円ほど減額する緊縮予算となりましたが、資料館の果たす今日的役割を皆さんにご理解いただきながら、財源確保に努力して参ります。

太田理事長ほか

全役員とも留任

役員は平成27年3月までの2年間の任期で、全役員留任が決まりました。直ちに理事会を開き、総会の意を尊重して役職もそのままとしました。

厳しい状況にあります。24年度の入館者は2057人で前年度の78%にとどまりました。24年度の資料館特別会計は収支とも204万円です。その主な財源は入館料49万円と町の補助金40万円(資料館決算時点32万円)が中心で不足分は一般会計からの繰入金です。支出は臨時雇い賃金134万円のほか、施設管理費・事務費・固定資産税等が主なものです。昨今の資料館は、観光的側面

理事長	太田 祖電
副理事長	佐々木 孝道
理事	深澤 佳道
同	加藤 和夫
同	佐々木 玄
監事	刈田 敏
同	佐々木 繁子